

(4) 水道料金

令和 5 年度の給水原価は 152.1 円、供給単価は 152.5 円となった（図－10）。令和 4 年度と比較し、給水原価は 0.5 円高くなり、供給単価は 5.5 円高くなっている。

給水原価、供給単価を全国と同年度で比較すると、直近の令和 4 年度水道統計によれば、全国平均の給水原価は 174.80 円、供給単価は 170.48 円となっているのに対し、大阪府の給水原価は 151.6 円、供給単価は 147.0 円となり、令和 4 年度は給水原価、供給単価の両方で全国平均を下回っていた。

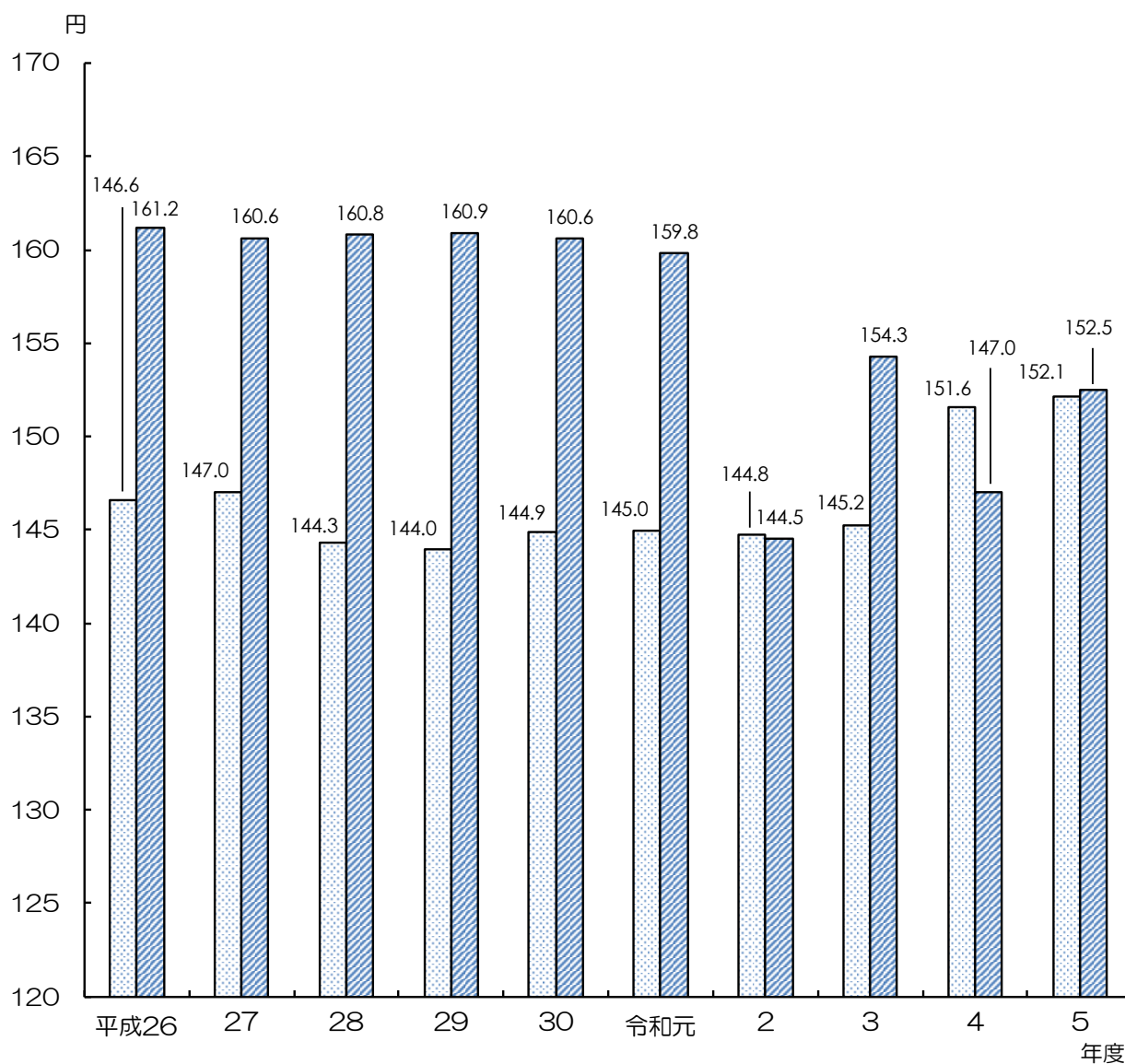
表－15 のとおり事業間で格差が生じているが、家庭用 1 ヶ月 20m³（口径別料金の場合 13mm）当りで換算して比較すると 2,600 円以上 2,800 円未満の事業が最も多くなっている。

また、最高料金は 4,955 円で最低料金 2,035 円の 2.43 倍となっている（表－15）。

表－15 家庭用水道料金（上水道）

1 ヶ月 20m ³ 当り換算		令和6年3月31日現在 事業数
2,000円未満		0
2,000円以上	2,200円未満	2
2,200円以上	2,400円未満	1
2,400円以上	2,600円未満	8
2,600円以上	2,800円未満	10
2,800円以上	3,000円未満	8
3,000円以上	3,200円未満	7
3,200円以上	3,400円未満	2
3,400円以上	3,600円未満	1
3,600円以上	3,800円未満	0
3,800円以上	4,000円未満	1
4,000円以上		3
（備考）最低料金 2,035 円		
最高料金 4,955 円		

図-10 給水原価と供給単価（上水道）



給水原価 = $\frac{\text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入等}}{\text{年間総有収水}}$

供給単価 = $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$